

日本ジオパーク委員会再認定審査の指摘事項に対する アクションプラン 概要版

ジオパーク秩父は、2019年に実施された日本ジオパーク委員会再認定審査において、「条件付き再認定」となりました。その後、同委員会から通知された「審査結果報告書」に基づき、改善に向けた今後の行動計画を以下のとおり定めます。

(1) 緊急に着手ないし解決すべき課題（おおむね1年以内）

① 地域内におけるジオパークの理念の共有

ジオパークの目的や考え方を関係者が理解しているとは言い難い。**全体でジオパークの理念を共有**し、一体感をもった活動を行うこと。

改善に向けた実施内容

- ジオパーク公式テキストの発行（R1）
- 有識者講演会の開催・交流促進（R2～）
- 関係者間の情報共有の強化（R2～）

② スタッフの拡充を含む事務局体制の改善

ジオパークの理念に基づいて地域をけん引していくことができるような人物の**雇用とスタッフの拡充**が必要不可欠である。

- 地域おこし協力隊の配置（R2補正～）
- 企画運営部会コアメンバーの選定（R2～）
- 他団体の事業との融合と人材育成（R2～）

(2) できるだけ早く着手ないし解決すべき課題（おおむね2年以内）

③ ジオパークとしての計画・指針の策定

共生ビジョンのみならず、**ジオパーク秩父独自の基本計画**を作成する必要がある。「ジオパーク秩父保存活用整備計画」は確実に実行をされたい。

- 「ジオパーク秩父基本計画」の策定（R2～3）
- 「(仮)ジオパーク秩父保全活用計画」の策定（R2～3）

④ ジオサイトの選定と保全・活用方針の明確化

観光利用で選定したサイト以外のサイトを含め、早急に**ジオサイトの定義分類を含めた抜本的な見直し**が必要である。また、「持続可能な開発」を意識した観光の創出、関係者の学術的知識の醸成をされたい。

- ジオサイトの選定方針等の明文化（R2～3）
- ジオ関係論文データベースの整理（R2～3）
- 「持続可能な開発」を基にした観光プログラムの作成（R2～）

⑤ 日本ジオパークネットワーク（JGN）への積極的な参画

秩父は**JGNでのコミュニケーションが不足**している。日常的にネットワークでの情報共有、相談、提案を行い、大会や研修会における各活動に参画されたい。

- 各大会等への積極的な参画
- 有識者講演会の開催・交流促進（R2～）
- ※①と共通

(3) 解決すべき課題

⑥ 拠点施設の整理と効果的な運用

- 主要拠点施設、拠点施設の役割の明確化（R2）
- 拠点施設の展示内容の充実（R2～）

⑦ ガイドの創意工夫と看板の拡充

- ガイド部会の新設（R2～）
- 現地解説看板の刷新（随時）